

民主党、維新の党、日本共産党、社民党、生活の党

衆議院・参議院 各議員 様

「参議院選挙に向け『戦争法廃止』のため野党共闘」を強く望みます！

安倍首相は4日の年頭のあいさつで、参議院選挙では自公与党で過半数を目指すこと、選挙戦では「憲法改正」を争点にすることを打ち出し、明文改憲に強い執念を示すとともに、その突破口として自民党の「日本国憲法改正草案」にある「緊急事態条項」の創設を狙っています。これは、昨年戦争法の強行に続き立憲主義と民主主義を破壊し、「安倍独裁政治」の実現を図る姿勢を鮮明にしたものであり、到底許されません。

しかし、戦争法が強行された昨年秋以降も、戦争法反対、野党共闘の実現、安倍内閣の退陣、国民連合政府の実現を求める国民的な運動が全国津々浦々で起こりつつあります。そして、昨年の国会で戦争法に最後まで反対した野党各党が真摯に忌憚のない話し合いをおこない、一つの束となり、来る参議院選挙の32の一人区で勝利して欲しいとの切実な声が澎湃として起こっています。

わたしたち年金生活者の多くは、かつての戦争で親兄弟を戦地で失い、国内では空襲や疎開、広島・長崎の原爆投下などの悲惨な体験を持ち戦後の荒廃の中から「平和憲法」のもとで復興に勤しんできました。年金者組合は、どんな理由があろうと、誰の孫子であろうと、二度と戦時体制に関与させてはいけなし、まして人が人を殺し、殺されるという人間にあるまじき戦争行為を断固として拒絶するものです。

貴党および貴職におかれましては、わたしたちのこの痛切な想いと願いをお汲みとりいただき、国民の過半数が求めている「戦争法NO」「国民連合政府」の実現をとの聲に応え、参議院選挙で安倍政権を退陣に追い込むために「野党共闘」を実現して頂くよう切に要請するものです。年金者組合は、一人区での野党共闘による統一候補が実現するなら「希望の星」として組織の総力を挙げてたたかい、勝利に貢献する所存であることを表明し、重ねてのお願いとします。

2016年1月20日

全日本年金者組合
中央執行委員長 富田 浩康